

55周年記念月日会総会 11月10日 (土) 午後2時開会 東京工業大学百年記念館にて

今年五十五周年の節目の年を迎えました。平成14年の11月に「月日会50周年記念総会」を品川プリンスホテルで開催してからあつという間に五年がたちました。次の「60周年記念総会」との中間年でもあります。この「60周年記念総会」を開催することといたしました。これを機会に、多くの会員の皆様が集まり、「月日会」の活動がますます活発になればと準備委員一同願っております。

記

日時 平成19年11月10日 (土)
午後2時から午後4時

受付 午後1時30分から
午後2時から午後4時

場所 東京工業大学百年記念館4階 (左図を参照)
レストラン「角笛」



内容 月日会総会および懇親会
会費 1期から50期 5,000円
51期から55期 2,000円

申し込み方法 出席される場合には、今回同封した払込用紙にて8月31日(木)までに会費の払い込みをお願いいたします。払い込みにより申し込みとさせていただきます。

*今回は、会場を母校に近い東急目黒線(旧目蒲線)・大井町線大岡山駅前前の「東京工業大学・百年記念館」といたしました。総会前に懐かしい母校、記念植樹をした「桐の木」や多摩川グランド、学校周辺の散策なども楽しんでみてください。

母校見学会 11月10日(土) 午前10時から午前12時 (受付は11時30分まで)

校内の見学を希望される方は直接高校までお出でください。受付にて手続きのうえ各自で見学をお願いします。(特に案内は予定していません。)

総会委員長 鍵和田幹夫(19期)

月日会々報

発行所

都立田園調布高等学校

同窓会 月日会

東京都大田区田園調布南27-1

電話 03 (3750) 4346

発行人 田中博隆

編集責任者 千本俊江

おもな内容

- 11月10日に55周年記念総会開催
- 「朝の読書」のこと 松野下校長
- 奥田亮二先生・慶徳孝先生 寄稿
- 月日会へのご寄付ありがとうございます
- 近況お便りありがとうございます
- 学校行事も活発に

五十五年の歩み

生き生きと熱気にあふれて



月日会 会長(6期)

財団法人田園調布理事長

田中博隆

月日会55周年の総会をこの秋に開催することとなりました。これまでに、10、20、30、40、50年の大きな節目の記念総会に携わり、田園入学以来52年間調布の思い出が生まれました。この喜ぶであります。

島甲祐校長先生と財団法人田園調布の今の基本財産を構築しました。そして先生の日日会への指導と長年にわたるご支援に心から感謝しております。



「朝の読書」のこと

都立田園調布高等学校長

第15代 松野下

健

今年度、田高には「合唱祭」「朝の読書」「日本の伝統・文化の授業(茶道と筆)」一学年全員による「奉仕」「体育祭土曜日開催」等の新たな取組が入りました。

「朝の読書」についてはご存じかと思いますが、「皆で、好きな本を、毎日、ただ読むだけ(感想文を求めない)」の四原則の下に行うものです。「参考書やマンガは除く」「先生も一緒に読む」という補足的な

55期卒業式

52期 重谷奈美
去る三月十日、今年も多くの夢や希望を持った3年生が卒業しました。

55期という節目の卒業生達は、田高に別れを告げ、夢や希望をかなえるために新たな場所へと出発して行きました。田高での3年間の思い出や手に入れたことをこれから先に活かして、夢や希望をかなえて欲しいと思います。55期のみなさん、頑張ってください!



今春五十八期生
二百三十八名入学

平成19年度 入学式挙行政される。

14期 初音みね子
4月9日(月)新入学生238名を迎えて平成19年度の入学式が挙行政されました。

東京都教育委員会から教育委員内館牧子氏(15期生)も参列されました。祝辞の中で内館さんは、在校当時は良い友達に恵まれ、学習面でも助け合い楽しい田高生活を送ったお話があり、新入生も興味深く聞き入っていました。

生徒も多く、落ち着いた雰囲気の中、一部の生徒も次第に本に集中できるようになりました。今は、田高の朝のひとときが静寂に包まれます。高校生に幼稚な取組と思わないで下さい。テレビやパソコン、携帯電話に時間がとられ、さらに、部活動で忙しい生徒や塾に通う生徒もいる状況にあるからこそ、たった十分間とはいえ、読書に集中できるこの時間は意義のあるものと思っております。読書の習慣がつけば、田高生は生涯、自らを高め続けることができ、そのことは一層豊かな人生を送ることにつながると思っております。効果はすぐには出ませんが、どうぞ田高の朝の読書にご注目いただきたいと思います。

多摩



今年も田高の入学式に列席。本年度の新入生は男子女子合わせて二三八名。式はシンプル・イズ・ベスト。厳かな雰囲気です。式次第に従って順次進行し、次は都教育委員さんの型通りの祝詞があるはずでしたが、今年は例年と大幅に違いました。壇上には田高十五期生、女性初の横綱審議委員で馴染みの内館牧子さんが、今日は都教育委員として祝詞を述べられ、続いて「私が田高生だった頃は国語しか出来ない、職員会議でも話題となり退学を勧告される寸前の劣等生でした……」と在学中のエピソードを披露され、田高がいかに自由な校風を持った高校であるかをアピール。自由と云う事は自己責任を持って初めて成り立つ事なども。参列者の誰れもが目と耳とを完全に奪われて、話が終わりに近くなると今度は保護者の方々が、カメラとカメラ付き携帯電話で一斉放列を開始。自由な校風が伝統の田高に今年はドイツから留学生が、そして、これからは留学生が帰国する時に田高の校章と校歌のCDを細やかな記念品として渡したいと松野下校長先生のお話。異国の地で田高の校歌に出会った……、楽しいですね。

新卒生

五十五期生

二百三十五名

田高卒業生は延一万五千四百二十名となりました。連絡可能月日会会員は、約一万一千六百名です。

進路状況

55期生の進路

4年制大学	123	合格者の多い四年制大学(浪人生含む)			
短期大学	27	神奈川	16	明治学院	10
専門学校	41	帝京	14	立正	10
就職	2	日本	13	関東学院	9
進路未定・浪人	42	武蔵工業	11	明治	8
合計	235	東洋	10	目白	8

教職員異動

【転入】	【転出】
小林 正人(国語) 広尾 並木 重志(数学) 唯海総合 橋本 輝夫(理科) 成瀬 町田 和郎(理科) 松倉 櫻井 一雄(理科) 桜井 廣瀬 美咲(英語) 玉川 牧嶋 秀之(英語) 神代 三木 和弘(国語) 一橋 松崎 朗(地理) 蔵前工業 亀井 貴子(保健) 松並 氣田 隆司(保健) 松並 佐藤 浩平(数学) 新堀 伊藤 豊(音楽) 美原 堀原 九男(福祉) 大森 鎌田 純子(主任) 産休復帰 小杉 智代(国語) 大森	下八川節子(国語) 第四商業 安達 洋子(社会) 柏江 柄澤 収(数学) 園芸 外尾 寿哉(数学) 雪谷 黒田 教智(理科) 松が谷 黒谷 良和(理科) 千歳丘 吉川 典良(理科) 農芸 今福 裕三(英語) 町田工業 古口 博則(英語) 八潮 杉山 正明(体育) 桜町 町田 由紀(体育) 一退職 磯邊 剛男(音楽) 大崎 平塚 乃里子(主任) 深沢 村田 司郎(技能) 一退職 【計】 斉藤 和俊先生は産休効 なく平成19年3月16日に永 眠なされました。改めてご 冥福をお祈り申し上げます。

校歌を口ずさみ

慶徳 孝先生
(数学科 昭和39年・昭和58年)



空蒼きかなた富士の嶺……
とつい田高の校歌を口ずさんで
いる私です。
昭和39年から19年間田高にお
世話になりました。多くの生徒



奥田 亮二先生
(理科 昭和38年・昭和59年)

田高生気質について

田高に勤務したのは昭和三十
八年から五十九年までの二十一
年間で、この期間には田高生を

を送り出しましたが、14期の植
田まさし君、15期の内館牧子さ
ん、19期の鍵和田幹夫君はじめ
みな懐しく思い出されます。
先生方にも親しく交際させて
戴きました。14期の学年主任だ
った柳田先生、長く同じ学年を
もたせていただいた能村先生は
じめ諸先生にお世話になりました。
今でも中森、平川、勝又、
時永先生とは毎月お会いしてお
ります。

田高の思い出は色々ですが、
なかでも進路部の資料作りに遅
くまで手廻しのタイガー計算器
をまわした事、ほろにあ祭で生
徒と一緒に映画を作った事、卓
球部の合宿の思い出と尽きるこ
とはありません。

勿論数学の勉強で生徒諸君と
教室で遅くまで話し合ったこと
もしよかったです。月日会の30
周年行事で青年館で会長田中
君、前会長家入さんと仕事をし
ました。

田高を去って25年、都を退職
してからも17年の余、都教委、
私立高校、予備校、塾、留学生
の学校と経験して現在も少し仕
事をして元氣
です。

こと問題意識を持つ生徒が多
くなり、HRや生徒総会などで
活発な議論が展開されるよう
になった。学校群制度の影響もあ
り、進学率も大幅に向上し、生
徒全体にバイタリティが感じら
れるようになった。その影響が
特に表れたのがほろにあ祭で
ある。特に演劇祭は大田区民会
館で行われるようになり、生徒
の張り切り方も大変なものであ
った。区民会館での放送や照明
機器担当の係りをしていた私と
しては何かと大変であったが、
生き生きと生きている生徒に接す
ることができたのは楽しい思い
出であった。

とりまき情勢も大きく変わった。
この間の田高生の気質の変更を
振り返ってみよう。

田高も、月
日会も大いに
元氣を出して
立派な花を咲
かせて下さい。
陰ながら見
守っています。

田高も、月
日会も大いに
元氣を出して
立派な花を咲
かせて下さい。
陰ながら見
守っています。

田高も、月
日会も大いに
元氣を出して
立派な花を咲
かせて下さい。
陰ながら見
守っています。

田高も、月
日会も大いに
元氣を出して
立派な花を咲
かせて下さい。
陰ながら見
守っています。

田高も、月
日会も大いに
元氣を出して
立派な花を咲
かせて下さい。
陰ながら見
守っています。

田高も、月
日会も大いに
元氣を出して
立派な花を咲
かせて下さい。
陰ながら見
守っています。

田高進路プロジェクト

副校長 高橋 聖一



私は、昨年4月に田園調布高校に着任し、1年が経ち
ました。私はこの1年間の生活の中で、田園調布高校
「田高」が更なる発展をしていくために、今以上に充実さ
せたい事柄、また、改善をすべき事柄が見えてきました。

充実をさせた事柄の1番が、「田高進路プロジェクト」
です。田高における長年の進路指導の実績を基に、幅広
い進路指導を目指し2001年から「田高進路プロジェクト」
と銘打ち、今日に結びついています。このプロジェ
クトは、単に進路指導を目指すのではなく、職業観
を醸成させた上での進路指導を目指しています。そのた
め、平成19年度から、プロジェクトのキャッチフレーズ
を、「1年生「社会のことを学ぼう」、2年生「進路先を決
めよう」、3年生「人生を切り開こう」と変更しました。
キャリア教育を大きな柱にして、今まで2年生の12月に
行っていた「しごと」をテーマとした学年別のガイダン
スを1年生の5月に行い、早い段階から社会を視野に入
れた進路指導を実施しています。

しかし、このガイダンスの講師を探すことに、毎年、
担当の進路指導部は大変苦労をしています。そこで、「田
高」では、1万5千に上るとする卒業生で、後輩達に
職業に関して講演をしていただける方を募っています。
是非、進路指導部へ一報をお願いします。

月日会へのご寄付ありがとうございます

(バザー献品ありがとう)

(平成18年度分)

元校長 寺島 甲祐	2期生 清水 博	6期生 石井 賢治	16期生 伊藤 由政
元教職員 能村 けい	三好 好支	稲垣 嘉昭	山崎 俊雄
松位 ミネ子	森 聡	金子 隆	中本 順子
元PTA 柳沢 里絵	高緑 正章	南雲 昇	増田 敦子
平松 房子	柴崎 公男	千川 勝重	小西 正
石井 庄四郎	北郷 忠一郎	岩田 邦昭	小西 正
樋口 光	家人 園子	岡島 成子	小西 正
今井 まり子	山野 正巳	加藤 峰夫	小西 正
齊藤 康子	春山 泰男	中田 英夫	小西 正
田中 克美	野原 尚子	大谷 明	小西 正
石塚 久子	松田 淑子	小川 博隆	小西 正
深谷 清子	梨本 正子	田中 博隆	小西 正
池田 けい子	増田 隆雄	高田 誠	小西 正
増田 ヒサ	松山 成夫	高田 誠	小西 正
現PTA 高橋 千代美	網井 照高	高田 誠	小西 正
1期生 常盤 彦吉	伊藤 和子	高田 誠	小西 正
寺本 主税	渡辺 セン	高田 誠	小西 正
中島 國幸	太田 紀美子	高田 誠	小西 正
早川 弘一	志村 年弘	高田 誠	小西 正
河内 迪亮	涌井 登代	高田 誠	小西 正
井手 敏雄	砂押 幸子	高田 誠	小西 正
小原 将司郎	修祐 雅夫	高田 誠	小西 正
2期生 清水 博	三好 好支	高田 誠	小西 正
3期生 柴崎 公男	北郷 忠一郎	高田 誠	小西 正
4期生 梨本 正子	網井 照高	高田 誠	小西 正
5期生 松山 成夫	伊藤 和子	高田 誠	小西 正
6期生 石井 賢治	稲垣 嘉昭	高田 誠	小西 正
7期生 高田 誠	高田 誠	高田 誠	小西 正
8期生 芝 百合子	岩野 光邦	高田 誠	小西 正
9期生 佐藤 英樹	大島 桂子	高田 誠	小西 正
10期生 渡辺 英雄	藤井 眞行	高田 誠	小西 正
11期生 今井 信一	佐藤 和子	高田 誠	小西 正
12期生 伊藤 由政	山崎 俊雄	高田 誠	小西 正
13期生 田口 裕子	佐藤 富枝	高田 誠	小西 正
14期生 高橋 美子	高橋 美子	高田 誠	小西 正
15期生 岩崎 勇	伊藤 富枝	高田 誠	小西 正
16期生 伊藤 由政	山崎 俊雄	高田 誠	小西 正
17期生 中本 順子	増田 敦子	高田 誠	小西 正
18期生 大塚 辰雄	今井 一友	高田 誠	小西 正
19期生 青木 幸子	秋丸 大	高田 誠	小西 正
20期生 源田 真由美	源田 真由美	高田 誠	小西 正
21期生 浜村 容子	小林 雅人	高田 誠	小西 正
22期生 加藤 雅之	鎌田 雅之	高田 誠	小西 正
23期生 清水 まゆみ	宮地 一雄	高田 誠	小西 正
24期生 中本 順子	山崎 俊雄	高田 誠	小西 正
25期生 下 正	磯邊 正	高田 誠	小西 正
26期生 磯邊 正	磯邊 正	高田 誠	小西 正
27期生 小西 正	小西 正	高田 誠	小西 正
28期生 吉野 正	吉野 正	高田 誠	小西 正
29期生 山本 聡子	山本 聡子	高田 誠	小西 正
30期生 佐藤 寿則	西尾 研	高田 誠	小西 正
31期生 竹尾 正	竹尾 正	高田 誠	小西 正
32期生 中島 直	堀井 直	高田 誠	小西 正
33期生 中本 順子	中本 順子	高田 誠	小西 正
34期生 伊藤 由政	伊藤 由政	高田 誠	小西 正
35期生 堀口 泰志	堀口 泰志	高田 誠	小西 正
36期生 辻本 重子	辻本 重子	高田 誠	小西 正
37期生 小西 正	小西 正	高田 誠	小西 正
38期生 小西 正	小西 正	高田 誠	小西 正
39期生 小西 正	小西 正	高田 誠	小西 正
40期生 庭野 公郎	庭野 公郎	高田 誠	小西 正
41期生 熊谷 宏子	熊谷 宏子	高田 誠	小西 正
42期生 林 隆三	林 隆三	高田 誠	小西 正
43期生 佐藤 英一	佐藤 英一	高田 誠	小西 正
44期生 川島 瑞穂	川島 瑞穂	高田 誠	小西 正
45期生 村井 絢子	村井 絢子	高田 誠	小西 正
46期生 伊藤 由政	伊藤 由政	高田 誠	小西 正
47期生 杉田 淳一	杉田 淳一	高田 誠	小西 正
48期生 匿名 2名	匿名 2名	高田 誠	小西 正

会計報告

平成十八年度分の月日会収支は表記の通り
決算致しましたのでご報告申し上げます。

会計委員長 千川 勝重(6期)
会計委員 簡 敏(9期)

収入	支出
前年度繰越金	2,461,481
幹事会費	376,993
通信事務費	71,250
会報編集費	1,677,834
卒業生入会金	1,155,000
銀行利息等	675
年会費	1,402,000
寄付	432,650
桐の木募金	104,268
18年度収入計	3,094,593
18年度支出計	2,828,925
次年度繰越金	2,727,149
合計	5,556,074

平成19年度 予算案

収入	支出
前年度繰越金	2,727,149
幹事会費	450,000
通信事務費	100,000
会報編集費	1,900,000
卒業生入会金	1,175,000
銀行利息等	851
年会費	1,400,000
寄付	400,000
桐の木募金	100,000
19年度収入計	3,075,851
19年度支出計	3,225,000
次年度繰越金	2,578,000
合計	5,803,000

会計監査

平成十八年度の会計報告について適法かつ
妥当であることを認めます。
あらためて次回総会で報告いたしますが、
先に会報でお知らせしておきます。

会計監査 大蔵 正人(8期)
会計監査 野口 貴(29期)

財団法人田園調布について

財団法人田園調布では、主に田グラ(多摩川河川敷グラウンド)の管理・運営や生徒活動の支援(部活動補助、皆勤賞など)の活動を行っています。その他、地域貢献活動として田高をもっと地域に身近に感じてもらうように活動を行っています。平成18年度は6月に多摩川清掃活動への参加、8月にパソコン講習会への支援、6月と10月に手話コース、11月に三回目となる中学生サッカー大会などを企画・実施してまいりました。それぞれの活動は年々充実してきており、地域からの期待も高まっています。

これらの活動は新入生保護者からの寄付、PTA・清流会・月日会からの寄付、ぼろにあ祭ふれあいバザーの売り上げにより支えられています。皆様のご支援・ご協力を今後ともよろしくお願い致します。(37期 小西)

ぼろにあ祭「ふれあいバザー」への献品をお願いします!

今年度は9月23日(日)午前10時より12時まで(但、品物がなくなり次第終了)月日会宛



20周年目のふれあいバザー(若手幹事も頑張ってます) 売上金の一部が大田区に寄付されます



小会議室での月日会コーナー 55年の歩みが展示されています

ぼろにあ祭に参加

幹事長 熊谷 和日(38期) 去年平成18年9月16日(土曜日)ぼろにあ祭が開催されました。

ふれあいバザーも今回20周年を迎えましたが、今回も幹事会の若手幹事を中心として売り上げに協力しながら協力してきました。最近では百円ショップ全盛の中で、価格だけではないPTA、在校生と近隣の方々の交流が有るという事が、ふれあいバザーの意義だと思っています。今年も7月7日に発足を開き

ます。小会議室の展示も16回目を迎えました。

近年は昔遊びコーナーを一角に設けさせていただき、大先輩の幹事から観覧に来た小学生までがベゴニア・面子に興じる様子はほほえましいです。田高よりくらこコーナーもすっかり定番となり、在校生を始め来場者の好評を戴いています。今年のぼろにあ祭は9月22日(土)9月23日(日)の2日間とも公開となり、若手幹事を中心とした新展開の企画を計画中です。今年も総会もありますので、久々にぼろにあ祭をごらんになつてはいかがでしょうか。

土曜日に 体育祭開催

田高の体育祭が6月9日(土)に開催されました。土曜日開催ということもあって保護者、卒業生、中学生等約七百五十名の応援のもと、白熱した体育祭になりました。



年会費ご納入ありがとうございます。今年度もよろしく願います。会員の皆様には、月日会活動にご理解をいただき心から感謝申し上げます。会報を毎年お送り出来ずとも会員皆様の貴重な資金のおかげです。幹事一同も有意義な活動に一生懸命がんばっております。ボランティア活動だけにいろいろ不行届の点も多いと存じますが、どうかご寛容の精神でご支援を頂ければ幸いです。年会費に、ご寄付にご協力を本当にありがとうございます。

多摩川河川敷 美化活動参加お願い

毎年参加している大田区主催の多摩川河川敷美化活動ですが、今年度は9月の予定です。大田区報で案内されますのでご協力よろしくお願い致します。

財団法人田園調布主催 平成19年度歓迎会開催

PTAと月日会・清流会が一堂に会し、学校を中心に輪を広げ、親睦を深めるための歓迎会が、19年6月22日、東京工業大学百年記念館で開催されました。PTA会長高橋 肇様を始めPTA実行委員会のみなさまのご努力により91名のにぎやかな会となりました。

清流会 15周年記念総会開催

清流会は大田区元PTAの集まりです。月日会と一緒に田高をバックアップしていきます。今年度は清流会創設15周年。記念総会には月日会からも多数出席しました。

手話コーラス

財団法人田園調布 昨年10月28日(土)田高の視聴覚室にて第3回目が開催され、「大きな古時計」と「翼をください」の2曲を楽しんでもらいました。

第3回中学生サッカー大会 財団法人田園調布杯 サッカー部の支援で



田高サッカー部員と支援の方々

箏曲部からの御願い

箏曲部では現在、十七弦箏を入手しようと考えており、ベルマークの回収や情報誌への記載申し込みなど、様々な努力をしています。しかし、なかなか入手できる見込みがなく、部員一同頭を悩ませているため、使っていない十七弦箏をお持ちの方がいっぱいありましたら、無料

コーチ募集

校長 松野下 進 田高の以下の部活動が実技指導者がいなくて困っています。ボランティア(無償)で教えて下さる方を探しています。剣道部・柔道部・バドミントン部・男子バレーボール部 教えていただけるようでしたらお電話、またはファックスを下さい。定年退職後の方も大歓迎です。

TEL 03(3750) 4346
FAX 03(3750) 4360



清流会の15周年記念総会が 6月9日(土)に開催されました。

編集後記

今年から都立高校では「奉仕」が必修になりました。田高では以前からパソコン講習会や様々な地域のボランティアに積極的に取り組んでいたため、比較的スムーズに導入できたようです。5月30日の朝日新聞東京版に田高のパソコン講習会が取り上げられ、大田区教育委員会には一週間で76件の問い合わせがあったそうです。

月日会や財団も田高がより地域に必要とされる存在になるようにバックアップしていきたいと思っています。

私たち月日会の役員もある意味ボランティアで活動しています。会員の皆様からお寄せいただいた年会費やご寄付をもとに、母校のために役に立ちたいという想いで集まっています。仕事や学校、家庭との両立は、かり、時にはつらい事があっても活動を続けていけるのは田高への「愛」だと思っています。

今年度は55期生が卒業し、5年ぶりの総会を開催いたします。会員の年齢層がひろがり、会の運営も大変になってきています。是非皆さまのお力をお貸しいただき田高の卒業生としてオールド田高の輪に加わっていただければと思います。

37期 小西 正晃



皆様からのご連絡を!

同窓会活動の提案、会報への投稿、近況報告、訪ね人やバザーの献品等々。

TEL 03(3750) 4346
FAX 03(3750) 4360
大田区北千束三丁目一四〇九 月日会 宛
TEL 03(3750) 4360